

『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』を開催します。

10月1日(土) 13時30分より、資料館2階交流学習ルームにおいて、『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』を開催します。

集いでは、イタイイタイ病資料館のほか、水俣市立水俣病資料館、新潟県立環境と人間のふれあい館、四日市公害と環境未来館で活躍される語り部を招き、それぞれが経験された公害について語っていただきます。

また、後半の意見交換会では、『公害の教訓継承に向けて』をテーマに、公害の被害や克服に向けた取り組みを後世にしっかりと伝えていくための課題や方策について、四大公害病資料館の語り部とともに考えます。

四大公害病資料館の語り部講話を一度に聴講できる貴重な機会です。事前申込は不要で、参加料も無料です。皆様是非ご参加ください。

詳細については、資料館ホームページをご覧ください。



四大公害病の語り部講話を聴く集い
～語り部による伝承会～

平成28年10月1日(土) 13:30～17:00
場所／富山県立イタイイタイ病資料館(富山市友杉151番地) 2階交流学習ルーム

語り部講話 13:35～

四大公害病の語り部の方に、それぞれの公害病について語ってもらいます。

水俣市立水俣病資料館	語り部	前田 恵美子 氏
新潟県立環境と人間のふれあい館	語り部	稲垣 シズエ 氏
四日市公害と環境未来館	語り部	伊藤 三男 氏
富山県立イタイイタイ病資料館	語り部	大上 久彦 氏

入館無料 定員120名

意見交換会 16:35～

公害の被害や克服の歴史をいかに後世に伝えていくかを四大公害病の語り部の方とともに考えます。



<お問合せ> 富山県立イタイイタイ病資料館
〒939-8224 富山市友杉151番地
TEL 076-428-0830
FAX 076-428-0833
URL <http://www.pref.toyama.jp/branches/1281/>

教員向けの『資料館活用研修会』を開催しました。

8月18日(木)、イタイイタイ病資料館を社会科の授業や総合的な学習の時間、道徳の時間などに有効活用していただくための研修会を開催し、県内の小・中学校、特別支援学校より16校20名の教員が参加されました。

教員らは、資料館展示室を見学後、柝山八郎さんの語り部講話を聴講し、患者であった祖母や祖母をお世話した家族の当時の様子など真剣に耳を傾けておられました。

その後、富山市立鶴坂小学校の河上祐三子教諭より、イタイイタイ病を題材とした授業展開の事例発表をいただき、資料館の見学により児童たちのイタイイタイ病への関心が高まり、それを授業での壁新聞の作成や発表、そして県民フォーラムへの参加などへと繋げ、学びを広げることができたと紹介されました。

研修の結びとして、富山国際大学子ども育成学部の水上義行教授より、イタイイタイ病を教育に位置づける意義や郷土に対する深い学びの大切さなどに触れつつ、イタイイタイ病の教訓を子どもたちに継承することにおいて、今回の研修会は大変有意義なものと総括されました。

今回の研修会を踏まえ、資料館では今後とも教員の方々との連携を深めながら、イタイイタイ病を風化させない教育の実践に向け、取り組みを進めていきます。



柝山八郎さんの語り部講話



河上教諭による事例発表



解説ボランティアによる『読み聞かせの会』を開催しました。

8月20日（土）・24日（水）・27日（土）の3日間、資料館2階の資料閲覧室において、解説ボランティアである田村すみ子さん、吉田孝子さんの協力を得て『読み聞かせの会』を開催しました。

今回は、『骨を喰う川 イタイイタイ病の記録』（毎日新聞社編）を朗読し、資料館の常設展示だけでは伝えることのできない当時の患者の思いや苦しみ、関係者の苦労の様子などを参加者に伝えました。

